

投資と暗号資産（仮想通貨）に関する日米アンケート調査結果

～米国では暗号資産に対して高まる期待感、日本では投資全般に慎重な姿勢が続く～

ビットコイン取引量 5年連続国内 No.1*1 の暗号資産（仮想通貨）取引所を運営する株式会社 bitFlyer（本社：東京都港区、代表取締役：三根 公博、以下「当社」）は、「投資と暗号資産に関する日米アンケート調査」を実施しましたので結果をお知らせいたします。

日本だけでなく米国サンフランシスコにも拠点を持つ当社は、日本と、直近のビットコイン価格上昇の舞台となっている米国において、20-59歳の男女計 3,000 人を対象に「投資と暗号資産に関する日米アンケート調査」を実施しました。

【サマリー】

<投資全般について>

- ・現在、投資をしている人の割合は、日本では 31% に留まり、米国では 82% でした。
 - ・2021 年に投資を増やしたいと回答した割合は、日本では 18%、米国では 68% でした。
- 日米共通して、新型コロナウイルスの影響を考え投資を検討しているといった声が挙がりました。また米国では、政権移行が投資姿勢を左右していることが分かりました。

<暗号資産について>

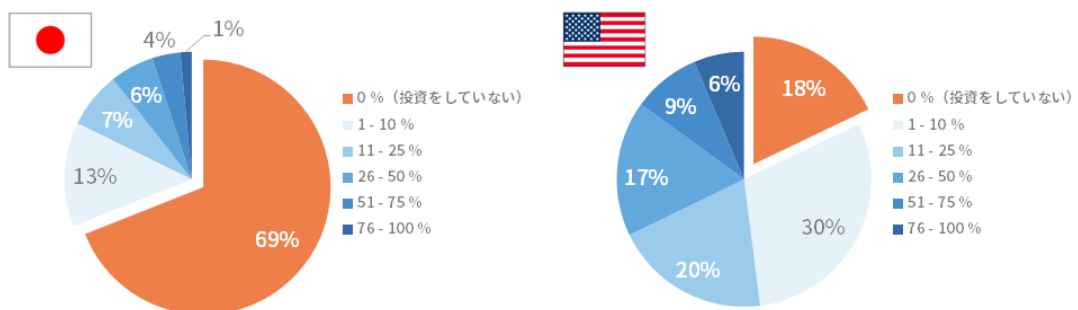
- ・暗号資産の利用経験率は、米国の 22% に対し、日本では 5% でした。
- ・暗号資産に対するイメージは、米国の 76% がポジティブと回答したのに対し、日本では 78% がネガティブと回答しました。日本では、流出事件の印象が強く残っていることが分かりました。

【アンケート調査結果】

■投資比率の違い

現在、金融資産のうち何%を投資に充てていますか。

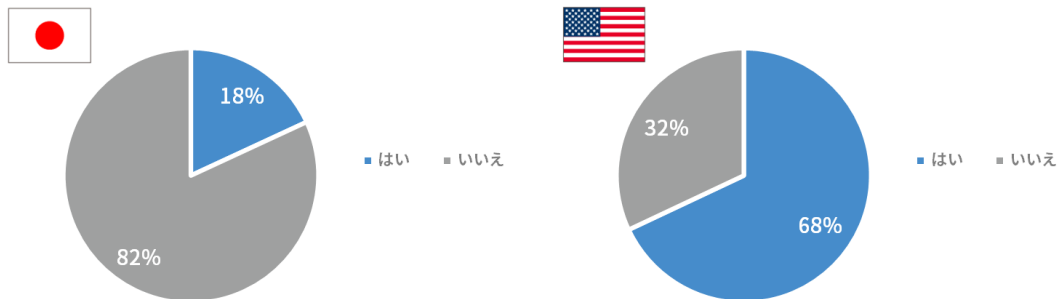
（不動産は除いてお答えください。）



日本では 69% が「投資をしていない」と回答しました。米国では 82% が投資をしており、全体の 32% が「金融資産のうち 26% 以上を株式や投資信託、暗号資産などの投資に充てている」ことが分かりました。

■2021年の投資に対する姿勢の違い

2021年は、投資額を増やしていきたいですか。



日本では82%が「2021年は投資額を増やしたくない」を選択した一方で、米国では68%が「増やしたい」を選択しました。

「2021年に投資額を増やしたい」と回答した理由として、日米共通して「将来のため、老後のための資産形成」が挙がりました。^{*2}

- ・将来の退職金がないので資産運用によって備える必要があるから。（日本 30代男性）
- ・老後までに2千万円貯めたいので。（日本 30代女性）
- ・老後のために投資を考えています。（米国 30代女性）
- ・家族の将来のために投資する必要があるためです。（米国 40代男性）

また新型コロナウイルスの影響も、「投資額を増やしたい」と回答した理由として挙がりました。

- ・株価が下がっているからコロナのお陰で。（日本 20代男性）
- ・コロナの影響により投資で資産運用するため。（日本 40代男性）
- ・去年はコロナ禍であまり投資できませんでした。2021年はコロナの影響が落ち着けば、もっと投資できると思います。（米国 30代男性）

一方、日本で「投資額を増やしたくない」と回答した理由として、投資全般への抵抗感を示すコメントが多く集まりました。

- ・損をするイメージが強いから。（日本 20代男性）
- ・投資はギャンブルと同じだと思っているので、お金が消えるような危険な事はしたくない。（日本 30代男性）
- ・やり方がよくわからない、損をしたりリスクが高そう。（日本 30代女性）
- ・投資にはリスクがつきものだから投資はしない。（日本 40代女性）

米国では、「投資額を増やしたくない」と回答した理由として、投資全般に対する抵抗感や無関心といったコメントは少なく、個人の可処分所得の状況が挙がりました。

- ・コロナ禍で経済的な余裕がない状況です。（米国 30代女性）

また米国では、政権移行が投資姿勢を左右していることが分かりました。

- ・今は投資する絶好の機会だと思います。新しい大統領のもと、経済状況もよくなっていくと思います。（米国 30代女性）
- ・新しい大統領が決まりましたが、景気がどうなるかは分かりません。（米国 30代女性）

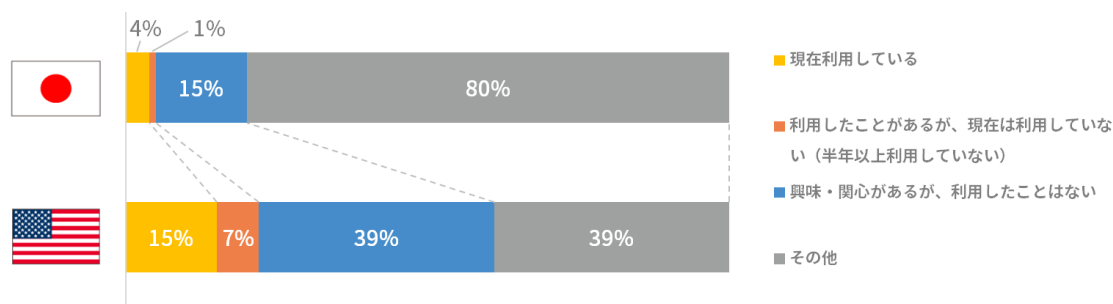
▽コメントの要約（2021年に投資額を増やしたい／増やしたくない理由）

	日本	米国
増やしたい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 預貯金の金利が低いため、預貯金だけではいけないと思う ・ 漠然と老後不安、将来の資産に不安がある、年金に期待ができない ・ 新型コロナウイルス影響下の情勢を見て 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 老後のため、将来のために備えたい ・ 確定拠出年金（401K）やIRA*3を活用したい ・ 新型コロナウイルスが落ち着いた後の2021年の相場は良くなると信じている ・ 預貯金の金利が低いため ・ バイデン政権への期待感
増やしたくない	<ul style="list-style-type: none"> ・ リスクをとりたくない、1円も失いたくない、投資は怖い、投資に関心がない ・ よく分からない、投資は難しそう、知識がない ・ 投資に充てる余剰資金がない、収入が減ったから ・ 新型コロナウイルス影響下の相場から、現在の景気を見て ・ 現状に満足している、投資をするより預貯金の方がいいと考える 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 投資に充てるお金がない、借金をしている ・ 新型コロナウイルス影響下の相場から ・ バイデン政権や民主党への不信感

■暗号資産の利用経験率の違い

暗号資産（仮想通貨）について、あてはまるものをお選びください。

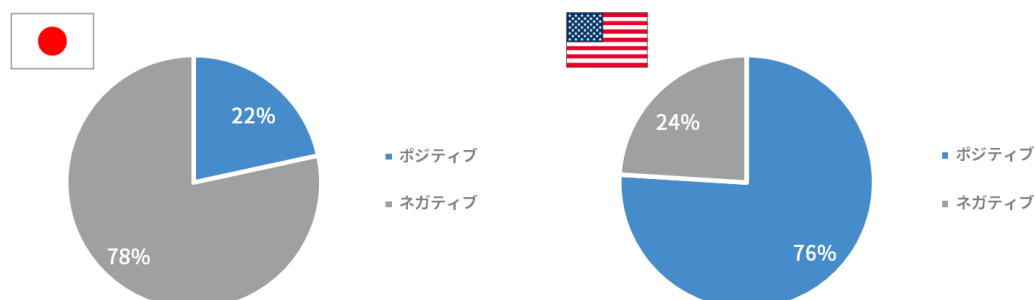
（利用とは口座開設、ログイン、売買、保有、決済を含めてお考えください。）



暗号資産の利用経験率は、米国 22% に対し、日本では 5% でした。

■暗号資産について持つイメージの違い

暗号資産（仮想通貨）について、あなたのイメージを教えてください。



日本では暗号資産について78%が「ネガティブ」と回答したのに対し、米国では76%が「ポジティブ」と回答し、日米で反対の結果となりました。

「ポジティブ」と回答した理由には、日米共通して「暗号資産の将来性」や「価格上昇に期待して」というコメントが集まりました。

- ・ニュースで最近価値が上がっていると見たから。（日本 20 代男性）
- ・上昇の勢いがある。（日本 40 代女性）
- ・ビットコインは米ドルと逆に動くと思っており、現在米ドルはインフレで価値が下がってきているので、ビットコインの価値はこれから上がると思います。（米国 20 代男性）
- ・私は過去3-4年間、暗号資産に投資しており、すでに大きな利益を上げられたのでポジティブを選びました。（米国 20 代女性）
- ・私は暗号資産で損をしましたが、まだ可能性があると考えています。（米国 30 代女性）

また日本で「ネガティブ」と回答した理由として、過去に報道された暗号資産の流出事件による印象が根強いことが分かりました。

- ・詐欺やセキュリティなど不安があるから。（日本 20 代女性）
- ・盗まれたりする可能性がある（日本 30 代男性）
- ・ちょっと前にニュースで仮想通貨の事件があったので。（日本 40 代男性）
- ・セキュリティに不安があり信用出来ないところがあるから（日本 40 代女性）

▽コメントの要約（ポジティブ／ネガティブを選んだ理由）

	日本	米国
ポジティブ	<ul style="list-style-type: none"> ・価格上昇に期待している ・未来を感じている ・キャッシュレスなど実需への期待 ・ハイリスク、ハイリターン ・非中央集権型の仕組みに期待している ・簡単で、少額から始められる 	<ul style="list-style-type: none"> ・将来性がある ・いいことだと感じる、投資手段としていいと思う、儲かる ・友人や知人が暗号資産投資で資産を増やしていた、友人が勧めてくれた ・ハイリスク、ハイリターン ・使い勝手がいい
ネガティブ	<ul style="list-style-type: none"> ・価格変動リスクが大きい ・資産流出事件、セキュリティが心配 ・仕組みややり方が分からない ・情報がない ・過去に自身や知人、著名人が損した、失敗した経験談 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボラティリティが高くリスクが高い ・怖い ・信用していない ・犯罪や詐欺、ダークウェブのイメージ

本アンケートを通じて、米国では多くの人が暗号資産に対して前向きであることが分かりました。背景には、米機関投資家による暗号資産の大口購入や米 Paypal が暗号資産の取扱いを開始したことなど、2020 年はポジティブなニュースが続いたことがあると考えています。また前提として、米国では金融リテラシーの高さが影響していると言えます。

一方で、日本でも「貯蓄から資産形成へ」というスローガンが掲げられていますが、リスク許容度が低く、投資全般に対して慎重な意見が多く集まりました。

当社は、暗号資産を新しい投資の選択肢のひとつと捉え、「貯蓄から資産形成へ」の後押しとなるよう、投資について正しい理解の促進に努めていきます。今後も暗号資産の可能性について発信し続け、多くのお客様に暗号資産の魅力に触れていただき、より身近に感じてもらいたいと考えています。

また、当社はお客様に安心してサービスを利用いただけるよう、全社を挙げてお客様の資産保全体制の強化に引き続き取り組んでまいります。

【アンケート調査概要】

調査期間：2021年1月5日-2021年1月11日

調査対象：日米の市場に在住の男女計3,000人（20-59歳）

- ・日本 n=2,000、米国 n=1,000
- ・各市場のデータは、調査国の消費者の動向が正しく反映されるよう、国勢調査結果に基づき性別および年齢の構成を調整
- ・アンケートの質問は2カ国語で実施

調査方法：WEBアンケート調査

※本リリースの調査結果をご利用いただく際は、「株式会社 bitFlyer 調べ」と明記をお願い致します。

【株式会社 bitFlyer について】

当社は、「ブロックチェーンで世界を簡単に。」をミッションに、2014年に設立されました。現在、ビットコイン等の暗号資産取引プラットフォームにおいて、世界最高水準のセキュリティ*4を提供し、ビットコイン取引国内 No.1 を維持しています。そして日米欧の3地域において暗号資産交換業者としての認可を受けた世界で唯一*5の暗号資産取引所です。

サービスサイト：<https://bitflyer.com>

*1 Bitcoin 日本語情報サイト調べ。国内暗号資産交換業者における2016年-2020年の年間出来高（差金決済/先物取引を含む）

*2 本プレスリリース内のコメントの引用や要約は、当社の見解ではなく、アンケート回答者の個人的見解です。当社がその完全性・正確性について保証するものではありません。

*3 IRA (Individual Retirement Accounts) とは、米国の個人年金制度の一つ。確定拠出年金（401K）同様、税制上の特典がある。

*4 Sscreen 社調べ。2018年1月発表、世界140の暗号資産取引所の中で当社がセキュリティ No.1 の評価を獲得。

*5 当社調べ。2021年2月時点。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社 bitFlyer 広報担当

〒107-6233 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

サービスサイト：<https://bitflyer.com> お問い合わせ先：pr@bitflyer.com